

「チェコにおけるジブシー、マイノリティ、移民をめぐるコンフリクト」

唐澤佑子（人間科学研究科 人類学）

調査内容

- ・2007年9月7、8日：イギリス、マンチェスターにおいて、ジブシー伝承学会2007年度国際研究大会にオブザーバーとして参加
- ・2007年9月9日 - 25日：チェコにて調査。主に首都プラハと北西部の町ジェチンに滞在。ジブシー団体、ジブシーの知人・友人、チェコ人、プラハ多文化センター、ヴェトナム人にインタビュー。文献収集。

調査成果の概要

- ・チェコの人々とジブシーの間におけるコンフリクトの度合、社会的・心的距離の大きさ：
  - 「住宅などに関する様々な問題はチェコ人には非がない。悪いのはジブシーだ。」
  - 「ジブシーが失業保険その他社会福祉手当をもらいに行けば、自動的にチェコ人であるわれわれよりも多い金額をもらえる。チェコ側がそうしたお金を出し渋れば、ジブシーたちはすぐに差別だと騒ぐ。」
  - 「ジブシーは国が提供する住宅に、ただで住んでいる。これは非ジブシーには不可能なこと。ジブシー優先措置だ。優先的にジブシー（とウクライナ人とヴェトナム人）の警官を養成・雇用するという政策も、非ジブシーにとってはフェアではない。」
  - 「ジブシー スリだけスリ＝ジブシー。」
- ・コンフリクトにもかかわらず比較的豊富なジブシーについての知識、ジブシーに関するジョーク：
  - 「ジブシーの中にはいくつかの集団が存在していて、お互い反目し合っているらしい。」
  - 「ジブシーたちは定住するようになって太ってきているらしい。」
  - 「ウースティ・ナッド・ラベム市のそばの町がジブシーのサッカーチームを作ったが、試合当日に来たのはチェコ人のコーチだけだった。彼ら（ジブシー）は約束を守らないし、当日試合よりも他に用事ができたと言ってきちんと来ない。」
- ・ジブシーの人々のチェコ社会とのコンフリクトの認識：
  - 「良い教育を受けたジブシーがいても、チェコ社会が受け入れない。」
  - 「ジブシーが捕まると、その人が罪を犯したのは「ジブシーだから」とされる。」
  - 「パブやディスコでも差別される。ジブシーがいるとチェコ人の客が来ないから、ディスコなどのエントランスでは、架空のクラブ・メンバーズカードの提示を要求される。」
- ・チェコ社会のマイノリティや移民に対する、概して穏やかな視線：
  - 「ヴェトナム人はよく働く。子どもは学校にきちんと通うし、勉強もよくできる。」
  - 「ここ（ジェチン、チェコ北西部の町）には「ハノイ通り」がある。ヴェトナム人はたくさん働く。彼らにとって金儲けが第一。」

- ・比較的新しくチェコにやってきたマイノリティ（ヴェトナム人）のチェコでの生活、チェコ社会についての考え：

「チェコ人は「ヴェトナム人はいつも市場にいて働いてばかりだし、彼らは教育を受けていない」というがそれは本当ではない。」

「チェコ人は私たちヴェトナム人をジブシーのように嫌ってはいないと思う。なぜなら私たちはジブシーと違って怠け者ではないし、一生懸命勉強し働いているから。」

- ・ウースティ・ナッド・ラベム市のマティチュニ通り「壁問題」:

これまで聞いた話

「ウースティ・ナッド・ラベムにはマティチュニ通りというところがあって、そこではチェコ側がロマと非ロマの住民を分ける壁を建設し、大問題になった。ひどい人権侵害だ。」(2006年におこなったインタビューより)

「このようなひどいことが現在でもチェコではおこなわれている。」(同上)

「最初に防音障壁の建設を一戸建て住宅の住民（マティチュニ通りの反対側に住む庭付き一戸建て住宅の非ジブシーの住民、報告者による注）が要求したのは、一九九七年の秋のことで、最終的には一九九八年の区予算にこのための費用が組み入れられた。」[佐藤 2001:103]

今回の調査で聞いた話

「壁を建設することを提案したのはジブシー側。この通りのジブシー居住区側には、社会的に問題のある非ジブシーの人々（失業者、アルコール中毒者など）も住んでいて、彼らの騒音や生活状況に文句をつけた非ジブシーの住民に対して、ジブシー側が提案したのが壁の建設だった。」

「そこに壁の建設の話聞きつけてやってきたチェコ国内およびヨーロッパのジブシー団体や人権団体から突然「人種差別だ」と非難を受けたことは、この地域に住むチェコ側の人々にとっては納得できないものである。」

**まとめ：**今回の調査ではチェコ人の側の視点を重点的に探ったことで、チェコ社会とジブシーの間のコンフリクトの度合いがいかにか大きいか、そして両者のあいだには深い溝が存在し続けているということがわかった。また、本研究を1つの出発点として、さらにジブシーについての研究を進めることによって、目に見える紛争や迫害などの形では現れてはいないが、それゆえに見えにくいものとなっており、かつ何世紀もの間ヨーロッパに存在し続けてきたジブシーという被差別民をめぐるコンフリクトに光を当てていきたい。

参考文献：

佐藤雪野 2001 「チェコ共和国における「ロマ問題」 - 民主化後に生じた人権問題？」『ロシア研究』32：93-108.